

私の考える国際理解

坂井市立春江中学校 二年 坪井 美穂

世界には六十三億人の人がいます。色々な国家があり、それらの国には、いろいろな人種の人が出て、文化、言語もさまざまです。最近、国際協力や国際理解という言葉をよく聞くようになりましたが、本当に理解をしている人たちは、少ない気がします。

私は、中国で生まれ育ちました。三年前に日本に来ました。日本に来た頃は、日本の文化も日本人の生活も全く知りませんでした。でも、最近では、少しずつ日本の文化や日本人の生活習慣を理解できるようになりました。

自分の生まれた国、育った国を離れて、他の国を初めて理解できます。同時に、自分の国のことも改めて知ることができます。

私のクラスメイトは、私の生まれ育った国のことを「汚い国」と言います。確かに、日本に比べて、空気も汚いし水道の水も飲むことができません。でも、原因や理由があることを理解してほしいといつも思います。

空気に関しては、建設ラッシュや黄砂が原因で、空が白い日があります。水に関しては、日本のように消毒されていないため、直接飲むことができないのも事実です。日本の友達は、水道水が欲めることがあたりまえだと思っっていますが、水道水が飲める国というのは、世界でも少ないと思います。

何でも、自分の国が基本だと思う考え方は、間違っていると思います。他の国を知るために、他の国を訪れたり住んだりすることは簡単ではありません。でも、今の時代は、インターネットが普及しているので、世界中の国の事情を知ることができます。

また、日本に住みながら、他の国の人たちと交流できる場所もたくさんあります。福井にも、そのような場所があり、私は時々、国際交流会館を訪れます。国際交流会館では、年に一回、国際フェスティバルが開かれます。福井に住んでい

る外国の人と地域の人が、交流をし、お互いの国を理解するというのが目的です。いろいろな国の文化や物の展示があったり、日本文化の紹介があったり、いろいろな国のダンスやスピーチ大会があったり、一日参加するだけでも、いろいろな国を理解することができます。

自分と違う人を理解すること、相手の国の事情を知り受け入れること、そして何よりも、そういうことを「知る」ことが、国際理解の一步だと思えます。私もこれから世界の色々な国や人を理解したいと思います。